

会員各位

2009年12月25日
日本化粧品技術者会
東京支部

第253回「学術講演会」のご案内

今年も残り僅かになって参りました。今年1年間の会員の皆様のご厚情に感謝申し上げますと共に、来る年もよろしく願い申し上げます。

さて今回は、2題のテーマについて「学術講演会」を開催致します。

1題は化粧品や食品分野で注目を集めている生体関連物質“ヒアルロン酸”の作用機序や効果について、皮膚科学・生理科学的な面から解説していただきます。

またもう1題は、これからの科学産業立国としての課題は何と云ってもそれを担う“ひとづくり”といえますが、長年研究者・教育者としてご尽力されてきた立場から、イノベーション時代におけるひとづくり、産学連携についてのお考えを伺います。

皆さまお誘い合わせの上、多数ご来聴いただきますようご案内申し上げます。

記

1. 日時：2010年2月8日(月) 13:30～16:30 (13:00～ 受付開始)
2. 場所：学士会館(神田) 2F-210号室 (地下鉄神保町下車;参加申込書略図参照)
東京都千代田区神田錦町3-28 TEL;03-3292-5931
3. 講演

【講演-1】 13:30～14:45

『 つける、食べるヒアルロン酸の機能、効果 』

キューピー株式会社 研究所 吉田拓史 氏

[要旨]

化粧品において、保湿効果は欠かせない機能の一つです。保湿機能を持つ化粧品素材は多数見られますが、中でもヒアルロン酸はその代表格として特に広く利用されております。また、近年ではヒアルロン酸の本来持つ保湿性をさらに強めた『修飾ヒアルロン酸』や『超低分子ヒアルロン酸』などが注目され、さらにその存在感を強めています。

また、ヒアルロン酸は化粧品素材だけでなく、健康食品素材としての利用も大きく広がっております。

私たちは、このような市場の期待にこたえるべく、新製品の開発、機能性データの取得を推進し、更なる市場活性化の一翼を担えればと研究開発を進めております。

本講演では以下のような内容をご紹介させていただく予定です。

- 1) ヒアルロン酸の一般論
- 2) 化粧品用途ヒアルロン酸の効果
- 3) 食品用ヒアルロン酸の効果
- 4) ヒアルロン酸摂取時の体内での作用など

[講師略歴]

2002年3月 立命館大学 理工学研究科修了
同4月 キューピー株式会社入社 研究所配属
(以降 ヒアルロン酸の研究開発に従事)

【講演-2】 15:00～16:30

『 イノベーション時代のひとつづくりを考える ～真の産学官連携を～ 』

独立行政法人 大学評価・学位授与機構 機構長
上海交通大学特別教授 平野 眞一 氏

[要旨]

私は、ものづくりはひとつづくりであり、また、ひとつづくり(教育)はものづくりの基盤であると信じてこれまでできました。2009年3月に総長を任期満了で退任し、要請された大学評価・学位授与機構長を務めることになりましたので、好きな研究を続けるために受諾していた上海交通大学の特別教授を非常勤にしなが、研究・教育にも携わっています。自身の研究環境を失いつつあるセラミストですが、今日は、自分のこれまでの反省も含めて、イノベーション時代におけるひとつづくり、産学連携についての考えをお話させていただきます。

[講師略歴]

1965年3月 名古屋大学工学部応用化学科卒
1970年3月 名古屋大学大学院工学研究科博士課程応用化学および合成化学専攻修了
1970年4月 東京工業大学工業材料研究所助手
1978年4月 名古屋大学工学部助教授
1983年8月 名古屋大学工学部教授
1999年4月 名古屋大学高温エネルギー変換研究センター長(平成14年3月まで)
先端技術共同研究センター長、工学部長などを歴任
2004年4月 名古屋大学総長(2009年3月まで)
2008年4月(独)大学評価・学位授与機構 機構長 (現在に至る)

<団体・公職歴>

国際セラミック連盟会長、日本セラミックス協会会長、アジア・オセアニアセラミック連盟会長
総合科学技術会議専門委員、中央教育審議会専門委員、科学技術・学術審議会委員
などを歴任、現在、大学設置・学校法人審議会特別委員

<専門分野> 無機材料化学

<主な受賞>

粉体粉末冶金協会賞(1984年4月)、日本化学会学術賞(1989年4月)、アメリカセラミック学会フェロー(1989年4月)、Richard M.Fulrath賞(アメリカセラミック学会)(1989年10月)、
日本ファインセラミックス協会国際賞(2000年5月)、Distinguished Life Membership賞(アメリカセラミック学会)(2006年6月)、Einstein Chair Professor賞(中国科学院)(2008年1月)
業績賞(日本結晶成長学会)(2009年10月) など多数

第253回 学術講演会(開催日:2月8日)参加申込書

参加者 氏名	該当に○ : 正会員、準会員、シニア会員、相談役・顧問、代理参加
	代理参加の方は、正会員のお名前もお書きください
	正会員名
会社名	
連絡先	TEL:
	FAX:

◇ 申込方法

- 本申込書を事務局(03-3586-0833)にFAXして下さい。
- 参加費は無料です。
- 参加証は発行しませんので、特に事務局からご連絡(定員でお断りする場合)がない限り、参加可能です。
- なお、正会員1名につき、代理者1名の参加が可能ですが、準会員、シニア会員の方はご本人のみ参加可能です。

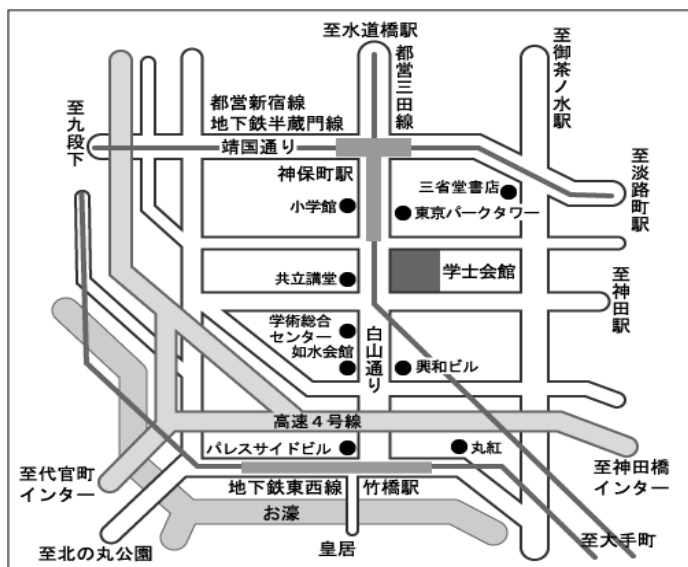
申込締切日:2月1日(月)

会場定員になり次第、締切らせていただきますので、お早めにお申込下さい。

◇ お問い合わせ先

日本化粧品技術者会 東京支部事務局(TEL:03-3586-0775)

◇ 会場(学士会館)略図



◇地下鉄 都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線 神保町駅下車(A9出口)徒歩30秒
◇地下鉄 東京メトロ東西線竹橋駅下車徒歩5分